

コンサドレーの奈良選手と山の手高校の石川さん
津別ゆかりの若手ホープが町長を表敬訪問



奈良選手（中央）と篠原勲さん（右）

1月6日、コンサドレー札幌の奈良竜樹選手が佐藤多一町長を表敬訪問しました。奈良選手は津別町在住の篠原勲さんのお孫さんで、北見市生まれ。昨シーズンのJ2リーグ終盤7試合に出場し、コンサドレーの今季J1昇格に貢献しました。

また、1月10日には女子バスケットボールの名門・札幌山の手高校で活躍した津別町出身の石川瑞季さんが町長室を訪れました。石川さんは、同校のレギュラー選手として在学3年間に高校3冠を含む5度の全国大会優勝に貢献しました。

町長からの激励に、奈良選手はJ1リーグでの活躍を、石川さんは大学進学後の更なる飛躍をそれぞれ誓いました。



大学でもバスケットを続けるという石川さん



近藤名誉院長の瑞宝双光章受章を祝し
受章祝賀会が盛大に開催される

1月14日、平成23年秋の叙勲において瑞宝双光章を受章された津別病院名誉院長・近藤益夫さんの受章祝賀会が中央公民館で行われました。

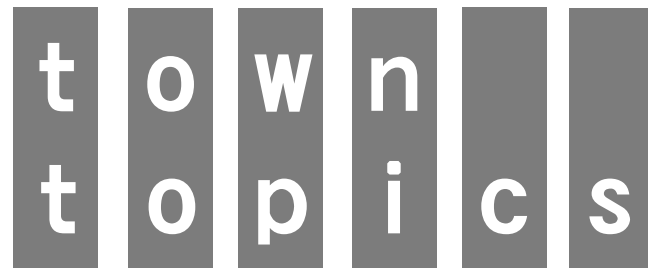
永年にわたり地域医療に貢献した事績による受章について、近藤さんは「丸玉産業の先代社長、大越広伸さんからぜひ津別と一緒にやってほしいと言われたのが、私にとつての転機となりました。家族の支えもあって、これまでやってこられました」と挨拶。250名あまりの出席者で盛況となった会場では余興などもあり、賑やかな祝賀会となりました。

安全への誓いを新たに
消防出初式が行われる

1月5日、美幌津別広域事務組合津別消防署、津別消防団の出初式が行われました。津別消防署前での検閲後、役場庁舎前に消防車や救急車など車両10台が集結し、消防署員16名、消防団員85名で観閲行進が行われました。



その後、町民会館で45年勤続褒賞の金一謙藏分団長を始めとする功労者22名の表彰と佐藤多一町長、糸屋消防長の年頭の挨拶があり、消防団員・消防員は火災などから町民を守る誓いを新たにしました。



まちのわだい

33名が大人の仲間入り
20歳を祝つ成人式が開かれる

1月8日、中央公民館で20歳を祝つ成人式が開催され、華やかな振袖姿やスーツ姿の新成人33名が大人の仲間入りをしました。式では、布瀬勝明教育委員長、佐藤多一町長、鹿中順一町議会議員、日下太朗道議会議員の祝辞に続き、成人を代表して中島杏子さんが町民憲章を朗読、上原悟さんと穴吹葉月さんが成人の誓いを読み上げ、森井なつみさんが佐藤町長より記念品を受け取りました。



また、北見室内管弦楽団による演奏会や、小・中学校の担任からのお祝いビデオレター披露などもあり、参加者は友達との再会を喜びあいながら成人式を終えました。

新春の想いを筆にのせて
第45回新春書初席書大会開催



1月5日、中央公民館を会場に第45回新春書初席書大会が開催され、小・中学生61人が各学年ごとの課題に合わせて筆を走らせました。

会場には、子どもの成長を楽しみに訪れる親御さんの姿も目立ち、真剣な眼差しで取り組む子ども達へアドバイスを送っていました。

また、今回書かれた作品には、金・銀・銅賞の他に、審査員特別賞の枠が設けられ、1月22日の表彰式で表彰状と記念品が贈呈されました。

1月16日、JAつべつ青年部（竹原宏太郎部長）から津別町教育委員会に学校給食用の力ボチャ70kgが寄贈され、阿部博道教育長に目録が手渡されました。今回寄贈された品種「ロロン南瓜」は、JAつべつ青年部のメンバーが町内の畑で丹精こめて育てたもの。中には津別小学校の生徒が植えた力ボチャも含まれているそうです。



学校給食に安心安全な食材をJA青年部が力ボチャ寄贈

12月16日、林業研修会館で平成23年度歳末特別警戒結団式が行われました。

佐藤多一町長の主催者挨拶、谷口廣明美幌警察署長の来賓挨拶などに続いて、美幌警察署の藤田大樹刑事生活安全課長による講話があり、参加者は年末に向け改めて防犯意識の徹底を確認しました。

歳末特別警戒期間の初日に当たるこの日は、結団式に続いて第1回目の地域安全パトロールが行われ、津別町防犯協会の役員や各自治会の警防部長らが町内を見回りました。



歳末特別警戒結団式
地域安全パトロールへ出動

青年農業者大会で最優秀賞
河本さんが青年農業者会議へ



12月15日に北見市端野町で行われた「平成23年度オホソク総合振興局管内青年農業者大会」で、津別町の河本務さんが最優秀賞を受賞。同20日に町長室を訪れ、受賞の喜びと1月31日から札幌で開催される北海道青年農業者会議へ派遣決定の報告をしました。

今回、河本さんが受賞したのはアグリメッセJ部門最優秀賞で、札幌からUターンし実家の農業を手伝い始めた頃のとまといや、同じ志を持つ仲間との出会いと学習活動グループ「津別町NODE（ノード）」の結成、農家として生きて行く決意などが発表され、高い評価を受けました。